

FUJIEDA ROTARY CLUB  
**Weekly Bulletin**  
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321  
 会長：鈴木廣利 副会長：村松英昭 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功



木蓮  
写真提供：鈴木舜光君

**第1664回**



2005-2006年度 RIテーマ  
**超私の奉仕**  
 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

<ソング> われら日本のロータリアン  
 <ソングリーダー> 松葉 義之君

**会長挨拶** 鈴木 廣利君

前線を伴った低気圧や気圧の谷が次々と日本列島を通過して行くので春のこの時期は変わりやすい天気です。時々嵐のような日もあります。

先週の創立夜間例会には大勢の皆様にご出席をいただき有難うございました。お蔭様で楽しい一夜を過ごす事が出来ました。

さて当クラブも創立から約35年が経とうとしておりますが、400年以上前の江戸時代初期に整備された旧東海道などの街道を歩く旅が人気を集めているのをご存知でしょうか。東京と京都の間は約500キロありますが、昔の人は10日から2週間で歩いたといわれます。1日に40～50キロは毎日歩いたこととなります。以前私は歩いてみた事があります。身延から蒲原までの50キロですが、その後3日間は足腰が痛くて歩くのも苦痛でした。1日に20キロ歩くのが精いっぱいです。あらためて昔の人の健脚ぶりに驚かされます。今は歩くところも整備され、靴もウォーキングシューズで軽くて歩きやすく、疲れれば飲みものや、食事をしながら休む店も各所に見つかります。条件は現代の方がずっと恵まれています。それなのに1日20キロ歩くのに精いっぱいとは、実に情けない限りです。又今は交通手段が発達して1日、否半日で日本中あらゆる観光地まで行く事が出来ます。もうあちこち行ってしまったので旧街道を歩く旅に人気が出てきたのでしょう。

しかし、昔の人も案外楽しみながら旅をしてい

たのではないのでしょうか。それにしても、丸い石を並べた急な坂が続く箱根の山や大井川からの金谷峠などはさぞや大変だったろうと思います。今1年間に国内の観光地に宿泊する人は1億6300万人(2003年)もいるそうですが、普通の観光旅行とは一味も二味も違う「歩く旅」はくたびれるけれど旅の新たな魅力を発見できる新しいメニューかも知れません。今日は「歩く旅」について話してみました。

**幹事報告** 松葉 隆夫君

- 2006～07年度新世代委員会・インターアクト小委員会よりお知らせが届いております。
  - 1) 次期インターアクト委員会開催  
平成18年5月21日(日) 13:00～「ホテル談露館」
  - 2) インターアクト海外研修のお知らせ  
平成18年7月22日(土)～27日(木) オーストラリア・ケアンズ
  - 3) 2006～07インターアクト校一覽
  - 4) 2620地区インターアクト年次大会・指導者講習会開催表
- ロータリーワールドが届いております。
- F I F S NEWS No76が藤枝市国際友好協会より届いております。

**出席報告** 後藤 功君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30 / 41 73.17%	32 / 41 78.05%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○石垣君 ○栗原君 ○櫻井龍君  
○宮川君 浅川君 板倉君 桜井富君 鈴木舜君  
仲田晃君 望月志君

(2) メイクアップ

水野 義猛君(藤枝南) 宮崎 啓之進君(藤枝南)

### スマイルBOX

後藤 功君

・家内の誕生祝を頂きました。有難うございました。  
酒向 謙次君

・妻のたん生日にはロータリークラブを始め子供、  
孫、仕入先より沢山花をいただきました。私の  
たん生日、5月5日はロータリークラブだけで  
す。やはり妻は、我家の太陽です。だんだん鏡  
に向かっている回数がふえています。

村松 徳君

・結婚祝ありがとう 杉浦 良一君  
結婚祝ありがとうございました。我慢・我慢の  
39年が過ぎました。 小宮 弘一郎君

・結婚(4.18)37年経つのも忘れて。女房  
はヒゲはハエタカー 飯塚 秀彦君

スマイル累計額 627,000円

### テーブルメイトD

『高級鋼、低コスト生産』 杉浦 良一君  
米電炉大手と

新型炉建設

製鉄所には高炉と  
電炉の二種類があり、  
高炉は鉄鉱石と石炭

を原料とし、自動車材料などの高級品の製造に  
向く。電炉は鉄のスクラップを電気で発生させ  
た熱で溶かし、主に建材を造る。

新プラントは高炉と同じように鉄鉱石と石炭  
を原料に鋼材のもととなる銑鉄を生産するが、  
低品位の鉄鉱石と電力向けの安い一般炭からで  
も高級鋼材を造れる。製造過程で温度や圧力を  
精密に調整して不純物を除き、純度の高い鉄を  
取り出す。

『健康ひとくちメモ』

柳原 寿男君

「酒は百薬の長」  
と宣われたのは  
「新」の皇帝(西暦  
8~3年)と伝えら  
れている。一方、「万  
病は酒から起こる」



と説いたのが、鎌倉時代末期の吉田兼好とか。  
どちらが正しいのか。酒飲みは前者を、苦手な  
方は後者を探ると思うが如何かな。

1990年にアメリカで、40~59才の男  
子27万6802人を対象に、12年間にわたり  
アルコールの摂取量と病気にかかる危険率の  
関係を調査した報告がある。この大規模な免疫  
学的調査の結論は、少量のアルコールを毎日取  
っている人の方が、全く飲まない人或いは多量  
飲酒者より危険率は低いとのことであった。即  
ち、1日当たりのアルコール摂取量が8グラム  
のとき危険率は最低となる。因みに8グラムの  
アルコールとは清酒60ml、ビール半本、ウ  
イスキーでシングルの更に半分相当する。こ  
の至適量の3倍を超えると「万病のもと」にな  
るそう。そんな微量の酒など飲まないほうが  
いいなどと云われる人は、生まれつきアルコー  
ルの苦手な方の爪の垢など煎じて飲まれるのが  
いいかもしれません。

(担当/望月俊)